

社会福祉学科			介護福祉 専攻			
科目名: 介護過程 I			担当教員 氏名: 毛利 亘			
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考	
1	1年次	前期	専門科目	演習	必修	介護福祉士国家試験受験資格(必修) 社会福祉主事任用資格
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 介護従事者の経験から個別援助計画の重要性とチームケアを伝える。						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
介護福祉士には専門的知識・技術を根拠とした、客観的で科学的な思考過程による介護過程の展開能力が求められます。本科目ではその介護過程の意義と目的、介護過程そのものの理解を深めます。					利用者理解 利用者主体 思考	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 3. 5. 6. 7. 9.	
A 知識・理解力		介護過程の目的と意義を理解することができる				
C 論理的思考力		アセスメントから利用者のニーズを把握し、必要な介護実践の組み立てができる				
D 問題解決力		課題達成のための方法を模索し、解決策を見出すことができる				
F チームワーク・リーダーシップ		チームケアの概念を養うことができる				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 70 %	レポート: %	発表: %	実技試験: %	その他: 30 %		
特記事項: その他の30%とは、演習の取り組みの姿勢、提出物や課題などの期限の遵守です。またテストとは演習課題をいいます。発表・実技試験等の実施時期: 7回目に中間評価のための課題説明をし、後日提出を求めます。15回目に振り返りとまとめを行います。アクティブラーニングの一環として、グループによる演習を行います。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 筆記試験及び演習シートにコメントし個人にフィードバックします。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 筆記試験及び演習シートにコメントし個人にフィードバックします。						
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)			
			学習内容	学習に必要な時間(分)		
①介護過程とは、おおまかな解釈			テキスト「介護過程」2～11pを読む	【予習】30分 【復習】30分		
②生活支援の考え方と介護過程の必要性			テキスト「介護過程」11p～22pを読む	【予習】30分 【復習】30分		
③根拠に基づく介護過程の展開			事後授業資料を読み返す	【復習】30分		
④個別ケアの視点			事後授業資料を読み返す	【復習】30分		
⑤ICFの視点			事後授業資料を読み返す	【復習】30分		
⑥生活の中の自立について考える			事後授業資料を読み返す	【復習】30分		
⑦事例演習			事後授業資料を読み返す	【予習】30分 【復習】30分		
⑧情報の収集・整理			テキスト「情報の収集」を読む	【予習】30分 【復習】30分		
⑨情報の解釈			テキストの「アセスメント」を読む	【予習】30分 【復習】30分		
⑩アセスメント～生活課題とは			テキストの「アセスメント」を読む	【予習】30分 【復習】30分		
⑪課題の明確化			資料を振り返る	【予習】30分 【復習】30分		
⑫事例を用いたアセスメント演習①情報の解釈			資料を振り返る	【予習】30分 【復習】30分		
⑬演習①の振り返り～情報の関連性を客観的に捉える			資料を振り返る	【予習】30分 【復習】30分		
⑭事例を用いたアセスメント演習①課題の明確化			資料を振り返る	【予習】30分 【復習】30分		
⑮演習②の振り返り～課題の明確化の際の留意点・まとめ			資料を振り返る	【予習】30分 【復習】30分		
使用テキスト: 最新介護福祉士養成講座9「介護過程」中央法規出版 ISBN978-4-8058-5769-4 介護福祉士養成講座編集委員会編集			その他参考文献など: 「その人を中心に考える介護計画」現代図書			
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 演習には積極的に取り組んでください。取り組みの姿勢を評価します。また2週連続して行う演習もあるので欠席はしないように努めてください。						